

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-154280  
(P2022-154280A)

(43)公開日 令和4年10月13日(2022. 10. 13)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<i>E 0 4 B 1/48 (2006. 01)</i>	E 0 4 B 1/48 A	2 D 0 5 9
<i>E 0 4 B 1/30 (2006. 01)</i>	E 0 4 B 1/30 H	2 E 1 2 5
<i>E 0 4 B 5/32 (2006. 01)</i>	E 0 4 B 1/30 D	
<i>E 0 1 D 19/12 (2006. 01)</i>	E 0 4 B 5/32 D	
	E 0 1 D 19/12	

審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 22 頁)

(21)出願番号 特願2021-57223(P2021-57223)  
(22)出願日 令和3年3月30日(2021. 3. 30)

(71)出願人 390018717  
旭化成建材株式会社  
東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

(71)出願人 000000446  
岡部株式会社  
東京都墨田区押上2丁目8番2号

(71)出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(71)出願人 521134031  
ワンス設計事務所株式会社  
福岡県福岡市博多区住吉四丁目21番17号

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 複合構造

(57)【要約】

【課題】多数の接合部材を配置せずとも大きなせん断力が作用する箇所で使用することができ、なおかつ、とくに接合部材の製造や溶接量といった面での改良を可能とする複合構造を提供する。

【解決手段】接合部材30が設けられた鋼部材10と、接合部材30が埋設されたコンクリート系部材とを含む複合構造1である。接合部材30は、板状の平板部31と、平板部31に設けられた貫通孔32と、平板部31に設けられた該平板部31の表面と垂直な方向に突出する突部36と、を有する。接合部材30は、鋼部材10の長手方向に沿って複数配置される。隣接する接合部材30の貫通孔32の中心間の距離は第1の所定値PV1以上である。

【選択図】 図1

